

令和6年度
札幌芸術の森及び
本郷新記念札幌彫刻美術館
事業報告書

公益財団法人 札幌市芸術文化財団

目 次

I	管 理 業 務 の 実 施 状 況・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	管 理 業 務 に 係 る 収 支 決 算・・・・・・・・・・・・	28
III	管理に関する協定書 第34条に規定する自主事業の実施状況・・	29

I 管理業務等の実施状況

1 統括管理業務

▽ 管理運営に係る基本方針の策定

【札幌芸術の森】

施設の設置目的と財団が策定した中期経営計画に基づき、第4期の基本方針を継承しつつ、検証、見直しを行い、札幌市文化芸術基本計画やその他の文化施策に対応し、次の5つの基本方針を策定している。

- ①あらゆる人々が文化芸術に容易に触れることができる多様な事業展開（社会包摂の実践）
- ②様々なアートシーン、ステップに応じた担い手の育成・支援（すそ野拡大、人材育成）
- ③新たな切り口による魅力発信とにぎわいの創出（施設の利用促進）
- ④人々が集い交流する場、地域拠点としての機能の充実（場の提供、交流の輪の創出）
- ⑤安全で利用しやすい施設づくり（利用者目線の施設整備）

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

札幌出身の彫刻家・本郷新の顕彰及び彫刻を中心とした美術の振興を図り、本郷新の残した作品・施設や生前の意思を引き継ぎつつ、幅広い年齢層を対象に美術館の運営をさらに進展させるため、財団が策定した中期経営計画に基づき、次の4つの基本方針を策定している。

- ①本郷新作品と関連資料の収集・保管、調査・研究、展示・公開
- ②彫刻を中心とした芸術文化の魅力を積極的に発信
- ③利用者の拡大と次代の担い手の育成
- ④市民に開かれ、立地環境を活かした施設運営

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

【札幌芸術の森】

利用受付は、利用者間の公平を図る観点から、受付開始日、締切日及び開始・終了時刻を定めているほか、受付は先着順とし、全ての利用者に対して公平な受付業務を行った。

受付の流れ、関連規則、施設の空き状況についても、分かりやすく十分に説明をするほか、ホームページ上で施設の空き状況を確認できるようにした。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

平等利用を確保するために、その方針及び取組項目を検討するとともに、研修会等を通じて、留意事項等について職員相互に基本的な考え方や心構えを確認した。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

【札幌芸術の森】

「札幌市生活環境の確保に関する条例」に基づき、不要な電気・水・ガス・灯油等の節約に努め、二酸化炭素排出の抑制に取り組んだ。

▼ 冷暖房について

夏場 28℃、冬場 24℃の温度設定で継続的に節電を実施した。また、職員を対象にクールビズを促進した。

▼ 節電について

- ・従来より実施しているセンター事務所の照度 50%設定やセンター、アートホールロビー等の照明設備の間引き点灯を継続して実施した。センター事務所では休憩時間の照明を必要最低限なレベルまで間引き節電に努めた。
- ・電力需要がひっ迫する野外ステージの大型イベントの開催時に主催者手配により発電機を用意し、電力デマンドのピークカットに努めた。
- ・余分な電化製品のコンセントを抜く等、待機電源の削減に努めた。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

「札幌市生活環境の確保に関する条例」に基づき、不要な電気の使用を抑えるとともに、水、灯油、ガス等の節約に努め、二酸化炭素排出量の低減に努めた。

▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成）

【札幌芸術の森】

- ▼ 管理業務の一層の効率的運用、中長期での組織運営のあり方などについて検討し、必要に応じた適切な採用・適正部署への配置を行った。
- ▼ 統括責任者として芸術の森事業部長を、職務代理者として芸術の森事業部管理担当部長を配置している。
- ▼ 芸術の森美術館に、学芸員有資格を条件として採用した職員 9 人を配置している。
- ▼ 各職員の習熟度に応じた計画的な研修を行い、スキルアップに努めた。
 - ・ 4～6 月
新採用研修、コンプライアンス研修
 - ・ 6 月
普通救命（AED）講習
 - ・ 7 月
安全運転講習
 - ・ 9～10 月
コンプライアンス研修
 - ・ 9～11 月
パソコン研修（Excel）
 - ・ 12 月
管理職マネジメント研修
 - ・ 2～3 月

情報セキュリティポリシー研修

・ 通年

防火管理講習

職長・安全衛生管理者講習

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 統括責任者として彫刻美術館課長を、職務代理者として彫刻美術館事業係長を配置しているほか、業務分担、連絡系統等を定めた。

▼ 本郷新記念札幌彫刻美術館に、学芸員の資格を有する職員2人を配置している。

▼ 各職員の習熟度に応じた研修を計画的に行い、スキルアップに努めた。札幌芸術の森との合同で職員研修を行ったほか、館独自で現場研修や各展覧会ごとにパート職員を含めた研修を実施した。

・ 4～6月

新採用研修、コンプライアンス研修

・ 6月

普通救命（AED）講習

現場研修「共振」展

・ 7月

安全運転講習

・ 9～10月

コンプライアンス研修

・ 9月

現場研修「生命体の存在」展

・ 10月

防火管理研修

現場研修「藤原千也」展

・ 11月

管理職向け研修

・ 12月

現場研修「かく語りき本郷新」展

管理職マネジメント研修

自衛消防訓練

・ 2～3月

情報セキュリティポリシー研修

・ 3月

現場研修「彫刻の設計図リターンズ」展

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

【札幌芸術の森】

- ▼ 財団内 LAN によるグループウェアを活用し、事業部内及び財団全体の職員間で情報共有を行った。
- ▼ 園内に点在する施設間においても、来園者と接する機会の多い委託業者（受付、警備、施設設備管理、清掃）と職員間での情報共有ツールとして、上記グループウェアや内線、携帯電話による連絡網もあわせて活用した。
- ▼ 安定した管理体制と来園者へのサービス向上を目指し、職員と常駐委託業者が事故や問題点、今後の予定など、お客様対応に必要な情報の共有や意見交換を行うための会議を毎週、実施した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 財団内 LAN によるグループウェアを活用し、美術館内及び財団全体での情報共有を行った。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認）

【札幌芸術の森】

- ▼ 計画書、仕様書に基づき、清掃、庭園管理等の業務を専門業者へ再委託し、適正な業務遂行を実施した。
- ▼ 第三者に対する委託に関して、入札等による適切な契約を行うことにより、経費節減と業務内容の充実と向上に努めた。なお、経費節減等が期待できる一部の業務については、複数年契約を締結した。
- ▼ 受託者の業務については立会を行うとともに作業完了報告書の確認と業務内容の検査を実施し、適正な業務を遂行させることができた。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 計画書、仕様書に基づき、庭園管理等の業務を専門業者へ再委託し、適正な業務遂行を実施した。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

【札幌芸術の森】

▼ 札幌芸術の森運営協議会の開催

開催回	協議・報告内容
第1回 (6月25日)	(1) 令和5年度管理運営業務の報告について (2) 令和6年度管理運営業務の経過報告について (3) その他
第2回 (9月17日)	(1) 管理運営業務の経過報告について (2) その他

第3回 (12月20日)	(1) 管理運営業務の経過報告について (2) その他
第4回 (3月13日)	(1) 管理運営業務の経過報告について (2) その他
<協議会メンバー> 地 域：芸術の森地区まちづくりセンター所長 利用者：施設利用者 有識者：放送局、コンベンションビューロー、大学教授、MICE 団体 ボランティア団体：野外美術館解説ボランティア 札幌市：市民文化局文化部長 指定管理者：芸術の森事業部長	

▼ 政策推進連絡会の開催

開催回	協議・報告内容
第1回 (7月24日)	(1) 各施設の重点取組事項について (2) 使用料手数料、基準管理費用（プラザのみ）の調整状況について (3) 予算編成時における文化部との連携について (4) 札幌市文化芸術基本計画について（報告） (5) 文化芸術施設改修工事等予定について (6) その他
第2回 (1月17日)	(1) 今年度の予算執行見込と次年度予算について (2) 次年度の事業展開について (3) 令和7年度文化部予算について (4) 料金改定について (5) 在り方検討委員会の進捗について (6) その他

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会の開催

開催回	協議・報告内容
第1回 8月22日	・令和5年度事業報告 ・令和6年度事業経過報告（4～7月）
第2回 12月18日	・令和6年度事業経過報告（8～11月） ・令和7年度事業企画状況

第3回 3月19日	・令和6年度事業経過報告（12～3月） ・令和7年度事業企画状況
<協議会メンバー> 利用者団体：札幌市立大倉山小学校 PTA 利用者団体：札幌彫刻美術館友の会会長 地元自治会：宮の森明和会会長 学識経験者：札幌市立三角山小学校校長 学識経験者：彫刻家 札幌市：市民文化局文化部文化振興課課長 指定管理者：芸術の森事業部彫刻美術館課長	

▽ 財務（資金管理、現金の適正管理）

【札幌芸術の森】

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施しており、公認会計士による外部会計監査を導入している。また、内部監査やセルフモニタリングにより、当財団管理施設をまたいだ相互的なチェック体制を導入している。

▼ 現金等の取扱いについては、現金取扱要綱を整備しており、出納員及び分任出納員による一元管理を行っている。また、複数職員でのチェックを行うことで、事故防止に努めた。

▽ 要望・苦情対応

【札幌芸術の森】

▼ お客様からの要望・苦情があった場合には、文書や財団内 LAN によるグループウェア等を活用し、担当課及び関連部署の職員間で速やかに情報共有を図り、対応確認を行った。指摘事項に関しては、担当者間で協議し、利用者の利便性を優先した迅速な対応に努めた。

また、アンケートにて要望のあった事項について、対応なども含めホームページで閲覧できるようにしている。

▼ 創作普及課では、利用者の要望が多い木工房にて利用者との意見交換会を行い、運用改正などについて議論し、利用者の意見を運用に生かすなど要望対応に務めた。

また、陶工房、染織工房、版画工房の過去3年間の利用者に「工房利用アンケート」を行い、要望や意見等を聴取し、運用に生かすよう務めた。

▼ 札幌芸術の森ホームページに寄せられる問い合わせについても、関係部署で情報共有を図り回答した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 要望・苦情のあった際は職員間で情報を共有し、迅速に検討・対応した。
- ▼ 代表メールアドレス宛に届いた問い合わせに対しても、情報共有を図り、迅速に回答した。

- ▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施）

【札幌芸術の森】

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 指定管理業務に関する下記の記録・帳簿等については適切に整備保管した。
 - ・事業日誌等
 - ・管理業務に関する諸規程
 - ・文書管理簿
 - ・各年度の事業計画及び事業報告書
 - ・収支予算・決算に関する書類
 - ・金銭出納に関する帳簿
 - ・物品の受払いに関する帳簿
 - ・各種業務に関する記録書類及び札幌市が必要と認める書類
- ▼ セルフモニタリングについては、来園者、利用者の満足度を測定するため、アンケート調査を実施した。また、セルフモニタリングや業務・財務検査を通して管理運営に関する自己チェックを実施した。
- ▼ 札幌市による施設の管理運営に関する検査等へは誠実に対応した。
- ▼ 自己評価の実施については、施設の利用状況、主催・自主事業の実施状況等について、毎年度、事業報告書と合わせて札幌市に提出している。

2 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上

- ▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上（事故の有無などの安全衛生面を含む）

【札幌芸術の森】

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 適正な内容で 36 協定を締結したほか、雇用環境の維持向上のため、関係法令に基づき財団諸規則等の見直しを行い、労働基準監督署に届け出た。
- ▼ 給与の額や支給方法等の雇用条件については、財団の例規として、職員、契約職員、パート職員の各々について就業規則を定めているほか、職員については別途給与規程を制定し明示している。これらを変更する場合には職員の過半数を代表する者の意見を聴取し、行政官庁への届出を行っている。また、賃金台帳など法定帳簿等も整備している。
- ▼ 就業規則を含む例規集は、グループウェアにより、常に各職員が閲覧可能な状態としている。

- ▼ 札幌市ワーク・ライフ・バランス plus 企業（ステップ3）として認証を受けているほか、4年計画で策定した次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を現在遂行中である。
- ▼ 毎月の給与計算や社会保険・労働保険関係の各種手続き等は、財団の総務課が社会保険労務士事務所に委託しており、労働関係法令改正への対応についても、社会保険労務士と相談して行っている。
- ▼ 労働安全衛生法及び当財団衛生委員会要綱に基づき衛生委員会を開催し、衛生管理者、産業医とともに労働災害の防止、職員の健康管理及び職場環境の向上に努めている。
- ▼ 産業医の選任のほか、顧問弁護士も導入しており、これらの専門家による、心身の健康面、雇用、仕事以外の事柄も含めた個別相談に応じる体制を採っている。また、各種ハラスメント対応のための専用相談窓口を設けている。
- ▼ 高齢者等雇用の安定等に関する法律に基づき、定年（61歳）退職後に、希望者を65歳まで継続雇用し、高齢者の雇用を促進した。
- ▼ 木工房の管理運営に係る法令・通知・公示と安全衛生の工場や労働災害防止を目的とする各工作機械のガイドラインについて、業界団体の定期刊行物の購読により情報収集に務めたほか、労働安全衛生法に準拠した木工房管理マニュアルを整備し、安全な工房管理に努めている。
また、令和6年度より法令に基づき、有機溶剤の取り扱いがある版画工房では講習を受講した専門職員による「化学物質管理者」を設置、また、初めて作業環境測定を行い、異状が無いことを確認した。
- ▼ 労働災害・事故について、3件の労働災害が発生した。
- ▼ 労働災害を防止するための対策として、衛生委員会や常駐業者も含めた施設ミーティングの中で注意喚起や必要な情報の共有を日常的に行うほか、職員に順次、労働安全衛生法による職長・安全責任者講習を受講させ、意識向上に努めている。

3 施設・設備等の維持管理業務

- ▽ 総括的事項（利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入）

【札幌芸術の森】

- ▼ 利用者の安全を確保するため、園内の施設、設備の定期的な点検・維持管理を行った。
また、管理課職員と常駐委託業者をメンバーとした施設連絡会議を週に1回実施し、施設管理に係る情報の共有や安全意識を統一し、施設管理業務を実施した。
- ▼ 施設内へのヒグマ進入防止のため、施設外周に電気柵を設置する対策を継続して行った。なお、電気柵の維持管理については、専門業者への保守点検の業務委託に加え、職員による目視点検を日常的に行うことで、柵の維持や異変の早期発見に注力した。

- ▼ 冬季は、除雪業者と連携を図り、急な天候の変化などにも迅速かつ細やかに対応し、来園者の利便性が損なわれないようにするとともに、安全の確保にも努めた。車道、園路が凍結している時には砂まきや融雪剤の散布等をこまめに行うとともに注意喚起の掲示を増やし、転倒や事故の防止に努めた。
- ▼ 拾得物の取扱いについては、所轄の警察署の助言を得て改訂した拾得物取扱マニュアルにより適切に取り扱っている。また、落とし主に速やかに返却されるよう、拾得物の情報を職員及びスタッフ間で随時共有している。
- ▼ 損害賠償保険は継続して、仕様に適合したものに加入した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 利用者の安全については、本館、記念館敷地の巡視、館内モニターに常に留意することによって事故防止に努めている。傾斜路である本館、記念館玄関アプローチでの冬季の転倒事故を防ぐため、営業時間内は路面状況の変化を常に注視し、除雪、氷割り、砂まき作業に即応した。
- ▼ 拾得物扱いについては、財団の拾得物マニュアルに従って届け出に迅速に対応し、利用者サービスの向上に努めた。
- ▼ 損害賠償保険は仕様に適合した施設賠償責任保険に加入した。

▽ 施設・設備等の維持管理（清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等）

【札幌芸術の森】

- ▼ 施設維持管理にあたっては、来園者の安全・快適性を確保するよう適切に実施した。
緑地外構、機械設備、及び屋内屋外の美術館の管理業務など、合計 47 業務を第三者へ委託し、維持管理に務めた。
- ▼ 主な修繕について
 - ①工芸館 煙突修繕
 - ②クラフト工房 外階段タイル修繕
 - ③アートホール 機械室共用部系統冷温水配管 修繕
 - ④クラフト工房 重油タンク液面指示計 修繕
- ▼ 河川の水を汲み上げる取水口に土砂が堆積し、取水ポンプが 10 年超利用できていなかったが、ポンプ場前の土砂を取り除き、修景池への流入量の改善を行った。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 本館、記念館施設、設備の維持、管理については適切に実施し、仕様書の水準を達成した。なお、警備業務、外構緑地管理業務は第三者委託により実施した。
- ▼ 来館者用駐車場の陥没路面修繕、記念館展示室壁面の経年劣化で剥離したクロスの補修を行った。

- ▼ 記念館の鉄製門扉について、5月30日に作品搬入委託業者トラックの接触による物損事故が発生したが、損傷は軽微で加害者の保険により原状回復した。

▽ 防災

【札幌芸術の森】

- ▼ 下記のとおり、防災訓練等を実施した。

- ・第1回消防訓練（総合） 12月4日
- ・第2回消防訓練（机上訓練） 3月13日

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 下記のとおり、防災訓練等を実施した。

- ・地震発生時を想定した消防訓練 12月27日

4 事業の計画・実施業務

【札幌芸術の森】

▽ 音楽・舞台芸術事業

▼ 札幌の文化芸術発信事業 サッポロ・シティ・ジャズ 2024

札幌の観光文化事業を担う独自のジャズイベントとして開催18回目を迎えた。ジャズの街さっぽろを国内外に発信し、都市のブランド力を高め、観光資源の創出を図るとともに、ジャズによる人材育成や市民参加活動の促進など、魅力ある街づくりに繋がる様々な事業を実施した。

①シアタージャズライブ

入場者数：3,159人

12月、高機能ホール「札幌文化芸術劇場 hitaru」を会場に、舞台上にステージと客席を設け、6日間8公演を実施した。国内外で活躍する小野リサ、山中千尋をはじめ、札幌ゆかりのミュージシャンとして札幌ジュニアジャズスクール出身の馬場智章や北海道グルーブキャンプ出身の曾根麻央が出演し、盛況となった。

②市民交流プラザを活用した普及事業

入場者数：3,985人

施設間連携事業の一環として札幌市民交流プラザの機能を活用し、ジャズの入り口として身体が不自由な方を含む誰もが楽しめる「ユニバーサルジャズライブ」や、ランチタイムに無料で気軽にジャズを楽しめる「ランチタイムコンサート」、楽器初心者を対象とした楽器体験イベント「DoJazz！見てさわって楽器体験！」を市民が行き交う1階のSCARTSコートで開催。札幌市図書・情報館とのタイアップによる「ジャズライブラリー」では、シアタージャズライブ出演者の推薦本の紹介や、来場者から好きな曲を集める参加型企画を開催した。

③企業・団体とのタイアップによる事業

入場者数：64,894 人

チ・カ・ホを会場とした「サッポロ・サウンド・スクエア」や、北ガスグループとのタイアップイベントである「創成 East JAZZ」、札幌市役所での「市民ロビーコンサート」、札幌市のイベントである「ライラックまつり」、「さっぽろオータムフェスト」など、さまざまな企業・団体・イベントとタイアップし、地域のにぎわいを創出し魅力をアップさせるジャズライブを開催した。

④海外プロモーション

入場者数：2,250 人

サッポロ・シティ・ジャズ及び札幌市の PR と若手ミュージシャンの活動支援を目的として、サッポロ・シティ・ジャズパークジャズライブコンテストの優勝バンドを海外ジャズフェスティバルに派遣する事業。新型コロナウイルスの影響により渡航を延期した2019年～2023年の優勝5バンドをシンガポールの国際ジャズフェスティバル「JazzinJuly」に派遣した。

⑤ノースジャム“ピクニック”セッション

入場者数：1,192 人

芸術の森野外ステージにて、2年ぶりとなる野外ジャズフェスティバルを開催。札幌ジュニアジャズスクール卒業生の松原慎之介カルテットや、北海道出身の佐瀬悠輔など、注目のミュージシャンや、ジャズの本場アメリカで活躍する若手実力派ミュージシャンによる Seiko Summer Jazz Camp 2024 All Star が出演した。会場内にはキッチンカーをはじめ、楽器体験や、ものづくり体験コーナーを設置し、約1,200人の観客がピクニック気分でジャズを楽しんだ。また、公演前日にはセイコーグループによる「わくわく音楽教室」をジャズスクールの小中学生対象に開催した。

▼ 次世代の文化芸術の担い手の育成・支援事業

①第25期札幌ジュニアジャズスクール

参加者数：41 人（小学生20名、中学生21名）

25年目を迎えた当事業では、札幌芸術の森での毎週末の定期練習を中心に、市内外での演奏会への出演や、イベントでの演奏などの活動を通年で実施した。また、世界的ジャズピアニスト小曾根真や、Seiko Summer Jazz Camp の講師陣によるワークショップや、ノルウェーのキッズジャズバンド「インプロバースン」のメンバーとの交流など、充実した活動を行うことができた。

②北海道ジャズの種プロジェクト

参加者数：56 人

ジュニアジャズ活動の振興と地域の活性化を目的とした北海道ジャズの種プロジェクトでは、道内4地域（広尾、ようてい、幕別、砂川）のジャズスクールと連携し、砂川市や留寿都村での合同合宿や、砂川市での合同演奏会「ともだちコンサート」を実施した。

③札幌芸術の森バレエセミナー2024

受講者数：111人（内22人は一般・指導者向け講座受講者）

見学者数：444人

若手ダンサー育成を目的として34回目を迎えた当セミナーは、パリ・オペラ座バレエ団教師のジル・イゾアールを主任講師に迎え、同団元エトワールのクレールマリ・オスタなど世界で活躍する講師陣を招き、クラシックからコンテンポラリーまでの充実したプログラムを揃え5日間にわたり開催した。期間中、過年度受講生でパリ・オペラ座団員の山本小春の公開レッスンを実施したほか、市民交流プラザ事業部との連携により、ジル・イゾアールによる公開講座をSCARTSコートで開催した。

④北海道グループキャンプ

受講者数：38人

入場者数：194人（Final Live）

現代音楽における世界最高峰のアメリカ・バークリー音楽大学から主任講師としてタイガー大越ほか現役教授3名を招へいし、6日間の集中セミナーを開催した。初めてOB講師として同セミナー出身の馬場智章を迎えた。

全国、また韓国から38名の受講生が集い、最終日には成果発表としてFinal Liveを開催。特に優秀と認められた受講者3名には、バークリー音楽大学のサマープログラムに奨学生として参加できる「バークリー賞」、次回の北海道グループキャンプに無料で参加できる「グループキャンプ賞」を2名に授与した。また、セミナーに先立ち、タイガー大越による特別ワークショップを札幌ジュニアジャズスクール中学生クラスの希望者を対象に実施した。

▼ 芸術文化を通じた市民活動の促進

①パークジャズライブ

入場者数：46,572人 参加者数：197バンド

プロ・アマ不問で市民ミュージシャンに広く発表の機会を与え、音楽による市民活動を促進し、市民文化を醸成することを目的として、全国から出演者を募集し、7月に2日間にわたり市内10会場で無料ライブを開催した。

また、サッポロ・シティ・ジャズ全体を支える市民ボランティア「ジャズセーバーズ」を組織し、パークジャズライブやシアタージャズライブなど各イ

ベントの運営を支える活動を行った。

▼ 質の高い文化芸術の創造・提供

①シアタージャズライブ [再掲]

▽ 芸術の森美術館事業

▼ 展覧会事業

展覧会企画数：9本

総入館者数：123,103人

(自主事業「▼札幌美術展 マイ・ホーム(仮)」を含む。)

① 遠藤彰子展 生生流転

会期 令和6年4月6日(土)～6月16日(日) 69日間

入場者数 8,526人

人々の営みや自然の驚異が細部まで丹念に描き込まれた大作を生み出す画家・遠藤彰子(1947-)の個展を開催。「人間の存在」や「今生きている実感」といった普遍的なテーマを最大で約3.3×7.5mにも達する大きさで描き続けてきた油彩の「大作シリーズ」を中心に、立体や新聞連載小説の挿絵を含む75点の作品を通しておよそ50年にわたる活動の軌跡を紹介した。

②水木しげるの妖怪百鬼夜行展 ～お化けたちはこうして生まれた～

会期 令和6年6月29日(土)～8月25日(日) 58日間

入場者数 51,296人

代表作『ゲゲゲの鬼太郎』をはじめ多くの妖怪作品を生み出し、現代の日本人に妖怪文化を定着させた漫画家・水木しげる(1922-2015)。本展は水木の生誕100周年を機に企画され、これまで開催されてきた数ある水木しげる展の中でも初めて、妖怪画が作られる具体的手法に注目。水木が所蔵し、参考にしていた妖怪関係資料を初公開したほか、水木しげるの妖怪画100点以上を一挙に展示した。

③ 国立西洋美術館 内藤コレクション 西洋の写本

一いとも優雅なる中世の小宇宙

会期 令和6年9月7日(土)～9月29日(日) 23日間

入場者数 6,552人

国内美術館最大級の写本コレクションである国立西洋美術館 内藤コレクションの中から、本から切り離された1ページ(リーフ)として後世に伝わった聖書や時祷書、聖歌集などの142点を展示。また芸術の森美術館独自の取り組みとして、個々の作品に写本の基礎知識や制作当時の時代背景などを記した絵解きパネルを添えた。

④フィロス・コレクション ロートレック展 時をつかむ線

会期 令和6年10月12日（土）～令和7年1月5日（日） 73日間

入場者数 21,036人

19世紀末パリで活躍した画家アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレックのグラフィック作品の世界最大級の個人コレクションであるフィロス・コレクションから262点を展示。ロートレックの代名詞である多色刷りポスターのほか、「1点もの」の素描、手紙や写真などの資料も豊富に展示し、画家の内面に迫った。

⑤札幌美術展 マイ・ホーム（仮）

会期 令和7年1月18日（土）～3月9日（日） 44日間

入場者数 3,473人

札幌・北海道にゆかりの作家を紹介する「札幌美術展」の第17回。本展では「ホーム」の流動性や不安定さに着目し、暮らし、制度、ルーツ、コミュニティなど、「ホーム」を形づくる様々な要素をテーマとした作品を展覧した。出品作家は、葛西由香、小林知世、武田浩志、田中マリナ、長坂有希、南阿沙美、米坂ヒデノリの7名。

⑥所蔵品展 一つの時代、二人の女流画家 #岸葉子 #八木伸子

会期 令和6年4月6日（土）～6月16日（日） 69日間

会場 B展示室

入場者数 8,356人

道内出身女流画家の岸葉子（1923-2023）と八木伸子（1925-2012）は、画業の初期にあたる1950～60年代当時、抽象表現主義の技法を貪欲に取り入れながら、自己の表現様式を探究すべく試行錯誤を続けていた。本展では、この時代の作品を後の時代の傑作に繋がる過程としてではなく、若き日の二人でしか描きえなかったもう一つの優れた作品群であると新たに捉え直し、油彩10点を紹介した。

⑦艾沢詳子 Happy Re-Birthday to FUKUSHIMA + SAPPORO 2024

会期 令和6年9月7日（土）～9月29日（日） 23日間

会場 B展示室

入場者数 5,641人

2023年度に当館に新たに収蔵された、札幌を拠点に活動する版画家・艾沢詳子（1949-）による作品のうち、2011年の東日本大震災とそれに起因する福島第一原子力発電所事故により、親しんだ場所を離れ他所へと移り住まなければならなかった避難者をテーマとしたインスタレーション作品

《Happy Re-Birthday to FUKUSHIMA + SAPPORO》に新たな要素を加えて再構成し、紹介した。

⑧砂澤ビッキアーカイブ経過報告展

会期 令和6年10月12日（土）～令和7年1月5日（日）

会場 B展示室

入場者数 14,189人

木彫家・砂澤ビッキ（1931-1989）は、旭川に生まれ、独学で彫刻や絵画を学び、阿寒湖畔や鎌倉、札幌で活動を行った。1978年からは音威子府の旧小学校をアトリエ兼住居とし、《四つの風》（1986年、札幌芸術の森野外美術館設置）に代表される神秘的でダイナミックな木彫作品を制作している。本展では、札幌芸術の森美術館で2018年から継続している調査研究活動「砂澤ビッキアーカイブ」の最新情報を、素描や彫刻の小品を交えながら紹介した。

⑨生誕120年 入門・本郷新－彫刻家が遺した愛－

会期 令和7年1月18日（土）～3月9日（日） 44日間

会場 B展示室

入場者数 4,034人

札幌出身の彫刻家本郷新（1905-1980）は、日本全国の公共空間に多数の野外彫刻を制作、設置したことから「戦後野外彫刻の第一人者」と評されている。本展は生誕120年を記念し、本郷新記念札幌彫刻美術館所蔵作品より初期から晩年までの作品を厳選し、本郷新の入門編として彫刻家の生涯を回顧した。最期まで彫刻家であろうとした本郷の彫刻への愛を、遺された作品を通して紹介した。

▼ 野外美術館

期日： 令和6年4月27日（土）～11月4日（月・休）

入場者数：52,740人

※8月3日からは謎解きイベント「時紡ぐミュージアムの約束」を併せて実施した。

来館者への作品鑑賞サポートとして、野外美術館作品解説ボランティア29名による作品解説を行った。また、野外美術館の作品鑑賞の手引きとして、「彫刻鑑賞ノート」と、シールを貼りながら作品を楽しく学ぶことができる子ども向けの「シールマップ」を販売した。加えて、自分のスマホで作品解説を聞ける「ポケット学芸員」の提供を行った。

▼ 教育普及に関する事業

[佐藤忠良記念子どもアトリエ]

当財団の中期経営計画の重点取組項目である子どもたちの芸術文化活動の充実に取り組む事業として、彫刻家佐藤忠良作品を中心とした所蔵品を展示するとともに、子どもを主な対象としたワークショップの企画・実施をした。

<スプリングフェスタ特別ワークショップ「ねんどで彫刻」>

及び「ねんどで彫刻 テイクアウト」>

「芸術の森スプリングフェスタ」の特別企画として、講師がつきそわず、ねんどで自由に彫刻をつくるワークショップを開催した。また、自宅でも制作できるようテイクアウトセットを販売した。

期日 令和6年4月27日（土）

参加者数 44人（ねんど販売数：38個）

<夏休み特別ワークショップ「まんがのペンでお絵かき」>

漫画家が使う道具を用いてペン入れ体験を行うワークショップを開催した。使用したペン軸、ペン先、原稿用紙は持ち帰ることができ、自宅でも引き続き制作ができるようにした。

期日 令和6年8月7日（水）～8日（木）、14日（水）～15日（木）、
21日（水）～22日（木）計6日間、12回

参加者数 63人

<特別ワークショップ「ねんどで彫刻 テイクアウト」>

「まんがのペンでお絵かき」と並行して、自宅でもねんど彫刻が制作できるテイクアウトセットを販売した。

期日 令和6年8月7日（水）～8日、14日（水）～15日（木）、
21日（水）～22日（木）計6日間

販売数：27個

<冬休み特別ワークショップ「ちびっこ油絵」>

道具や画材を提供し、F4サイズのキャンバスに自由に絵を描くワークショップを開催した。また同時に額縁の販売を行い、額装による見え方の違いも体験してもらった。

期日：令和7年1月11日（土）～13日（月・祝）、
1月16日（木）～18日（土）計6日間、12回

参加者数：56人

▼芸術の森 40 周年記念事業

事業数：5 本

総入場者（参加者）数：5,430 人

札幌芸術の森の開園 40 周年を記念して令和 8 年度に開催予定の大規模美術展
「Flowering Gardenー花降る森ー」に先立ち、一連のプレ事業を行った。

①マイ・ガーデン

期日：令和 6 年 9 月 6 日（金）～12 月 22 日（日） 54 日間

※大ホール公演日のみ開催

会場：札幌コンサートホール Kitara 大ホール内 Kitara ギャラリー

入場者数：1,453 人

コンサートホールとの連携により、自然の移ろいやその中でつかの間の休息
を楽しむ人々をテーマとする、北海道ゆかりの作家 6 名の作品を Kitara ギャ
ラリー内で展覧した。

出品作家：葛西由香、小林知世、武田浩志、田中マリナ、長坂有希、南阿沙美

【関連事業】マイ・ガーデン アーティストトーク

期日：令和 6 年 11 月 2 日（土）

会場：札幌市民交流プラザ 1F SCARTS コート

参加者数：24 人

②オルガンアウトリーチコンサート

期日：令和 6 年 9 月 11 日（水）

会場：札幌市立小野幌小学校

参加者数：87 人

講師：吉村玲子

コンサートホールとの連携により、オルガニストの吉村玲子を講師に迎え、パ
イプオルガンの仕組みの解説とともに、芸術の森にちなんだ曲も含めてポジテ
ィフオルガンの演奏を行った。

③札幌芸術の森 おはなしコンサート

期日：①令和 6 年 9 月 12 日（木）

②令和 6 年 9 月 13 日（金）

③令和 7 年 1 月 23 日（木）

④令和 7 年 1 月 24 日（金）

会場：①札幌市立宮の森小学校 ②札幌市立芸術の森小学校

③札幌市立上白石小学校 ④札幌市立幌東小学校

参加者数：①85 人 ②78 人 ③67 人 ④57 人

講師：①②金子三勇士 ③④中川健一

子どもたちに音楽と美術に触れる機会を提供し、芸術に対する親しみを醸成するとともに、札幌芸術の森への関心をもってもらうことを目的に、市内小学校4校でアウトリーチコンサートを実施。講師が野外美術館の作品にちなんだ楽曲を野外美術館の映像とともに演奏し、芸術の楽しみ方やピアノの仕組みについてわかりやすく話した。

④子どもアトリエ 山木将平ライブ「音でみる」

期日：令和6年11月3日（日・祝）

①14:00～14:40 ②15:00～15:40

会場：佐藤忠良記念子どもアトリエ

入場者数：①55人 ②51人

開園40周年に向けて、野外美術館の新たな楽しみ方を提案するため、佐藤忠良記念子どもアトリエを活用し、ギタリストの山木将平を招いたギターライブを開催した。展示室内にラグマットを敷き、演奏とともにゆったりと彫刻作品の鑑賞を楽しめる工夫を行った。

⑤マイ・ガーデン カム・ホーム

期日：令和7年1月18日（土）～3月9日（日）

会場：札幌芸術の森美術館

入場者数：3,473人

コンサートホールの来場者を対象に開催した「マイ・ガーデン」展の鑑賞機会をより広げるため、「札幌美術展 マイ・ホーム（仮）」との同時開催で、「マイ・ガーデン カム・ホーム」として再展示を行った。

出品作家：葛西由香、小林知世、武田浩志、田中マリナ、長坂有希、南阿沙美

▽ 工芸・工房事業

▼ 第24期工芸作品展示事業

クラフト作家への展示・販売機会の提供、使い手となる市民への良質なクラフト作品の紹介と購入できる場の提供を目的に、工芸館展示ホールにおいて、札幌圏を中心とした道内クラフト作家の作品を展示販売。令和6年度は2期に分け、季節をテーマに展示作品の入れ替えを行った。

今年度の出品作家は北海道内で活動する48人。

また、工芸作品の一部を芸術の森ホームページにてオンライン販売し、35,365円の販売実績があった。

会期：令和6年4月27日（土）～令和6年8月25日（日）、
令和6年9月14日（土）～令和7年3月9日（日）

※11月19日～3月26日の冬期間は土日祝日の開場

会場：工芸館展示ホール・クラフトギャラリー「ベストポケット」

幹旋販売額：6,093,671 円（令和5年度実績：4,970,310 円）

入場者数：37,194 人（令和5年度実績：67,088 人）

▼工芸館コレクション展

工芸館のコレクションから作品 12 点を選出し、ベストポケットと併設展示した。1990 年代から 2010 年にかけて手作りクラフト作品を募集した全国 規模の公募展の過去入賞作品を公開。

会期：令和6年12月5日（木）～令和7年3月9日（日）

会場：工芸館展示ホール

入場者数：3,839 人（上記期間における「ベストポケット」入場者数）

▼ 工芸・版画講習会事業

クラフト工房と各工房において、ものづくりを愛好する人の裾野拡大と技術習得・向上を目的とした講習会を通年で開催した。陶芸、テキスタイル、手織、木工、七宝、ガラス、版画の各分野で、個人向けの講習会と団体向けのグループ講習会、また予約なしで気軽に作品制作が楽しめる「ふらっとクラフト体験」に加え、作家を講師に招いたワークショップや木工房の大型製材機経験者を対象とした大型製材機安全講習会を開催するなど、初心者から上級者までの幅広い層を対象としたプログラムを実施した。また、ゴールデンウィーク、芸術の森バースデー、夏・冬休みには子どもが参加できる講座を増やし、多くの子どもの参加を促進した。また前年度に引き続き気軽に制作体験できるキット「おうち de クラフト」をクラフト工房窓口やオンラインストアなどで販売し、時間や場所に縛られず、ものづくりを体験できる機会を創出した。

（令和6年度は2種を販売し、完売した）

会期：令和6年4月～令和7年3月

会場：クラフト工房（大・中・小制作室）、木工房、織工房、染工房、版画工房

講習会総実施回数：329 回（前年度実績：382 回）

講習会総受講者数：4,466 人（前年度実績：4,671 人）

ふらっと体験参加者数：1,665 人（前年度実績：3,171 人）

（織機でコースター体験を含む）

ものづくり制作体験キット販売個数：49 個（前年度実績：294 個）

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▽ 展覧会事業

▼ 総入館者数 16,361 人 本館 12,399 人、記念館 3,962 人）

【本館】

下記の展覧会を開催した。

●特別展

①「共振一本郷新＋北海道の現代アーティスト」

会期：令和6年6月15日（土）～9月16日（月・祝） 81日間

入場者数：2,288人

②「第4回本郷新記念札幌彫刻賞受賞記念 藤原千也展」

会期：令和6年10月5日（土）～令和7年1月26日（日） 93日間

入場者数：1,905人

③「札幌彫刻賞歴代受賞者パネル展」

会期：令和5年9月16日（土）～令和7年5月25日（日） 514日間
（令和6年度304日間）

入場者数7,162人（令和6年度4,172人）

④「さっぽろ雪像彫刻展2025」

会期：令和7年1月24日（金）～26日（日） 3日間

入場者数：1,265人

●アウトリーチ展示

①さっぽろ雪まつり出品「雪像彫刻 from 本郷新記念札幌彫刻美術館」

会期：令和7年2月4日（火）～11日（火・祝） 8日間

会場：さっぽろ雪まつり大通5丁目会場

入場者数：1,770,000人（第75回さっぽろ雪まつり大通会場来場者数）

●コレクション展

【記念館】

本郷新の代表作や野外彫刻の石膏原型などの常設展示を行った。

①「コレクション展 石と木」

会期：令和5年4月29日（土・祝）～令和6年5月26日（日）
327日間（令和6年度48日間）

入場者数：3,563人（令和6年度436人）

②「コレクション展 2024-2025」

会期：令和6年6月1日（土）～令和7年5月25日（日） 295日間
（令和6年度259日間）

入場者数：3,526人（令和6年度）

【本館】

①「コレクション展 かく語りき本郷新「彫刻は詩の塊だ!」

会期：令和6年1月19日（金）～5月26日（日）

136 日間（令和 6 年度 48 日間）
入場者数：991 人（令和 6 年度 538 人）

②「コレクション展 本郷新 彫刻の設計図リターンズ」

会期：令和 7 年 3 月 8 日（土）～5 月 25 日（日）

68 日間（令和 6 年度 20 日間）

入場者数：148 人（令和 6 年度）

▽ 本郷新の業績を顕彰することを目的とした事業

▼ 本郷新記念札幌彫刻賞（第 4 回）

・受賞作品展示

会期：令和 6 年 6 月 29 日（土）～令和 9 年 4 月

会場：札幌芸術の森美術館中庭

▼本郷新の調査研究

・本郷新の自著文献のデジタル化

・本郷新関係の文章の執筆、寄稿

・コレクション展、土曜講話などでの研究成果の発表

▽ 彫刻を中心とした美術に関する講座等の実施に関する業務

●北海道銀行本店レリーフ「大地」制作記録映像「三人の手」上映会

参加者数：145 人

会場：札幌市民交流プラザ

●彫美連続講座

実施回数：3 回

参加者数：355 人（会場聴講 262 人、オンライン聴講 93 人）

会場：札幌市民交流プラザ（オンラインでも配信）

●造形教室

・夏休み造形教室

参加者数：19 人

・冬休み造形教室

参加者数：37 人

●館長の土曜講話

実施回数：15 回

参加者数：377 人

●札幌おしゃべり美術部

実施回数：2 回

参加者数：9人

▽ その他彫刻美術館の設置目的を達成するための事業

▼ 促進事業

● サンクスデー

実施回数：2回

入館者数：601人（夏 310人、秋 291人）

▼ 学校協力

● 学芸員資格取得希望の大学生を対象とした博物館実習（館園実習）の受け入れ

参加学生数：大学4年生4人（6日間）

● 市立三角山小学校3年生の年度作品・ポスター展示

参加児童数：43人

● 札幌西高等学校美術選択1年生展覧会鑑賞

参加生徒数：92人

● 札幌市立啓明中学校職場体験の受け入れ

参加生徒数：7人

● 札幌市立宮の森中学校3年生展覧会観覧

参加生徒数：29人

▼ ボランティア活動の受け入れ

「ハロー！ミュージアム」で児童への鑑賞指導を行うボランティア（協力員）を受け入れ、実際の活動と事後の研修を行った。また、本郷新の自著をデジタル化する作業を「資料整理ボランティア」の協力のもと行った。

▼ 連携事業

財団他施設との連携

・ 札幌文化芸術交流センター SCARTS との連携

「彫美連続講座」や記録映像上映会の実施、展覧会設営時における技術面での協力

・ 札幌芸術の森美術館との連携

第4回本郷新記念札幌彫刻賞受賞作品の展示、及び完成記念事業の実施

5 施設利用に関する業務

【札幌芸術の森】

▽ 利用件数等

▼ 施設の利用状況

		R5実績	R6計画	R6実績
アート ホール アリーナ	件数(件)	243	229	233
	人数(人)	20,128	17,505	26,161
	稼働率(%)	67.9	69.9	65.3
アート ホール 練習室	件数(件)	2,215	1,887	2,293
	人数(人)	16,573	13,855	15,827
	稼働率(%)	61	58.9	64.2
野外 ステージ	件数(件)	40	37	36
	人数(人)	13,590	10,763	16,223
	稼働率(%)	21.2	37.6	19
各種 研修室	件数(件)	3,590	3,151	3,665
	人数(人)	4,456	3,821	4,582
	稼働率(%)	69.6	69.6	72.1
各種窯	件数(件)	342	257	302
	人数(人)	342	257	302
	稼働率(%)	34.7	21.6	33.7
各種 アトリエ・ ロッジ	件数(件)	239	194	217
	人数(人)	1,710	1,237	1,370
	稼働率(%)	17.6	16.2	15.7
駐車場	件数(件)	87,731	60,976	51,574

▼ 入場者数

(人)

		R5実績	R6計画	R6実績
総入園者数		503,747	500,000	325,612
	芸術の森美術館	242,899	170,000	123,103
	芸術の森野外美術館	60,040	60,000	52,740

▽ 不承認 0 件、取消し 57 件、減免 562 件、還付 16 件

▽ 利用促進の取組

札幌芸術の森や文化芸術に気軽に親しんでもらうこと、来園者増を目的としたイベントを 6 事業開催した。

- ①スプリングフェスタ（札幌市立大学公開講座「札幌芸術の森 自然観察会」）
- ②芸森バーズデー2024(涼やかにひんやり日本茶を・バーズデー 札幌ジュニアジャズスクールミニライブ)
- ③野外美術館謎解きイベント「時紡ぐミュージアムの約束」
- ④札幌芸術の森 秋の観察会
- ⑤芸森かんじきウォーク
- ⑥芸術の森地区 雪あかりの祭典

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▽ 利用件数等

▼ 施設の利用状況

展覧会事業		R5実績	R6計画	R6実績
本館 展示室	展覧会件数	6	6	6
	開館日数	259	245	245
記念館	展覧会件数	2	2	2
	開館日数	295	295	295
本館入館者数		7, 502	9, 275	9, 000
記念館入館者数		4, 344	3, 273	4, 500

その他事業		R5実績	R6計画	R6実績
本館展示室利用	利用件数	1	0	1
	利用日数	5	0	17
本館 研修室利用	利用件数	0	0	1
	利用日数	0	0	1
本館 屋外利用	利用件数	1	0	1
	利用日数	8	0	1

▽ 不承認 0 件、 取消し 0 件、 減免 0 件、 還付 0 件

▽ 利用促進の取組

▼ 「サンクスデー」として年 2 回無料開館し、ものづくりやオリジナル飲食物販売など楽しめるプログラムを実施し、幅広い層の来館を促す工夫をした。

6 付随業務

▽ 広報業務

【札幌芸術の森】

▼ 広報の充実

園内の各施設の担当者が集まり広報会議を定期的に行い、施設や課、係それぞれが携わる様々な事業について情報を共有し、積極的な情報発信を図った。

▼ ホームページによる情報発信の充実

平成 28 年 11 月に全面リニューアルしたホームページの内容をさらに充実させた。また、季節にあわせてトップページのメイン写真を変更し、自然を含む芸術の森の魅力を伝えた。

サッポロ・シティ・ジャズやバレエセミナー等の情報量が多い事業は、引き続き個別のホームページを設け、ターゲットを絞った情報発信を行った。

・ ホームページアクセス数

R 6 : 1,824,987 件 （参考） R 5 : 2,602,959 件

▼ その他 SNS による情報発信の充実

X、Facebook や Instagram でリアルタイムの情報発信を行った。

▼ ニュースリリースによるマスコミへの情報提供

毎週、市政記者室をはじめマスコミ、事業関係者などに、芸術の森の最新情報をリリースする「今週の芸森。」をメールマガジン形式で配信するとともにホームページに掲載し、スピーディな情報発信に努めた。

▼ ウェブアクセシビリティ取組内容確認を実施し、2025 年 2 月 26 日にホームページに公開した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 通常のホームページ運営に加え、Facebook や X などの SNS でのこまやかな情報発信に努めた。事業ごとにターゲットを絞った SNS 広告を随時行い、効果的なコミュニケーションを試みた。また、宮の森地区連合町内会、近隣小学校へのチラシ配布を通じて地域住民への広報に積極的に取り組んだ。

ホームページアクセス数 : 21,140 件 （参考） R 5 : 32,143 件

Facebook フォロワー数 : 1,339 件 （参考） R 5 : 1,245 件

X フォロワー数 : 5,015 件 （参考） R 5 : 5,014 件

芸術の森との連携により、広報ツール（ニュースリリースや情報紙もりくる）の共有も行っている。

- ▼ ウェブアクセシビリティ取組内容確認を 2025 年 3 月 21 日に実施し、結果をホームページに公開した。
- ▼ ホームページの管理・運営にあたっては、日本工業規格 JIS X 8341-3:2016 の適合レベル AA に準拠するとして「ウェブアクセシビリティ方針」を定めて公開し、利用者の立場に立った情報の提供に努めている。また、同方針に基づいた運用試験を着実にを行うよう準備を進めている。

▽ 引継ぎ業務

(前回から継続指定のため、引継業務なし)

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

【札幌芸術の森】

- ▼ 例年同様、令和 6 年度も各種保守点検、修繕業務などの再委託については、その大部分を市内の企業に発注している。また、高齢者就労支援業者（シルバー人材センター）に受付業務の一部を委託した。また、福祉施設の活用として、札幌芸術の森美術館で開催される展覧会等の広報印刷物の封入作業や作業着等のクリーニングを、近隣の就労支援施設に発注している。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 業務委託、消耗品等の購入は市内の企業を活用した。

7 利用者アンケートの結果

【札幌芸術の森】

実施方法	令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月 施設・事業毎のアンケート用紙を作成し配布。
結果概要	回答 6,621 件 (施設利用者アンケート 374 件、事業アンケート 6,247 件) 施設に対する総合的な満足度は 95.4% (「とても良い」、「良い」、「普通」の合計) と、前年度より「とても良い」が増え、満足度を維持できた。職員の接遇に対する満足度については 95.0% (「とても良い」、「良い」、「普通」の合計) と前年度よりは減ったものの、例年と同様の数値を維持できた。 いただいた意見や要望については、常駐業者も含め関係者に情報共有し、可能なものから都度迅速に対応するように努力した。
利用者からの意見・要望とその対応	利用者からの意見や要望に関しては、職員間で情報を共有し、その都度迅速に対応したほか、ホームページ上で対応等含め閲覧できるように対応した。 意見・要望については別添のとおり

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

実施方法	無記名の記入方式（通年）
結果概要	回答 694 件 来館者の接遇に対する総合的な満足度は約 98.1%（「大変良い」、「まあ良い」、「普通」の合計）、施設についての満足度は約 98.6%（「とても満足」、「まあ満足」、「普通」の合計）と、総じて高い評価を得ることができた。
利用者からの意見・要望とその対応	【要望】 トイレトペーパーを交換しやすい配置にしてほしい。 【対応】 配置位置に配慮し、交換点検の機会も増やした。 【要望】 寒かった。 【対応】 室内温度を一日に複数回点検することを徹底した。 【要望】 外国人向けに英語の説明があると尚良い。 【対応】 記念館に関しては作品の解説英語標記対応済み。パンフレットも英語対応済み。 展示替えごとの対応や、英語以外の話者が増えていることへの対応方法を検討している。

Ⅱ 管理業務に係る収支決算

【札幌芸術の森】、【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▽ 収支一覧

(千円)

項目	R6年度計画	R6年度決算	差(決算-計画)
収入	865,249	885,832	20,583
指定管理業務収入	823,141	882,891	836,404
指定管理費	688,251	688,251	707,712
利用料金	57,176	59,052	53,271
その他	77,714	89,101	96,733
自主事業収入	30,352	30,812	28,845
支出	900,249	953,596	53,347
指定管理業務支出	861,997	884,803	862,107
自主事業支出	39,826	38,001	38,142
収入-支出	▲ 48,330	▲ 35,000	▲ 67,764
利益還元			0
法人税等			0
純利益	▲ 35,000	▲ 67,764	▲ 32,764

▽ 説明

- ▼ 指定管理費について、今期は令和6年4月～令和7年3月までの光熱費高騰分の札幌市による補填を受けたこと、また賃金スライドにより増収となった。
- ▼ 利用料金収入は主に野外美術館観覧料、工房等利用料、駐車場利用料である。野外美術館への入館者が好調で観覧料収益は増加したが、美術館展覧会が不調で入園者が減少したため、駐車場利用料収入が予算額を下回り、結果として利用料金収入全体の予算比減少の一因となった。
- ▼ その他収入には、講習会受講料、企業協賛金、他団体からの助成金に加え、実行委員会を構成して実施する事業に係る決算剰余金の配当が含まれる。文化庁助成金12,584千円の交付を受けたことで、予算を大きく上回った。
- ▼ 指定管理業務支出について、前年度に引き続き光熱費・燃料費の高騰により支出が増加したほか、実行委員会を構成して実施する事業の精算金の支出等もあり、全体として支出が増加した。
- ▼ 自主事業については、札幌美術展に係る資材費や人件費の高騰により、予算に対して収支が悪化した。

Ⅲ 管理に関する協定書 第33条に規定する自主事業の実施状況

1 飲食・物販事業

【札幌芸術の森】

▽ レストラン事業

センター2階の野菜を中心にしたビュッフェレストラン「ごちそうキッチン 畑のはる」では、北海道産、とりわけ札幌近郊の食材を取り入れたメニューを提供。冬季間はテイクアウトメニューを提供した。(利用者：7,906人)

▽ 売店事業

ミュージアムショップ Polaire を美術館が直接運営し、展覧会関連グッズ及び図録はもちろん、地域作家の作品やグッズの販売も行うことで、地域の美術文化を常に発信するという側面もあわせ持たせて運営している。令和4年にはオンラインショップを開設し、令和5年度からは地域作家の作品のオンライン販売も開始した。また、館蔵品をモチーフとしたオリジナルグッズも製作し、販売した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▽ 自動販売機を設置し、来場者の利便性向上に努めた。

▽ オリジナルコーヒーなどの商品開発、本郷新に関する受託商品の販売を行った。

2 補助金交付の対象となる自主事業

▽ 札幌の文化芸術発信事業 サッポロ・シティ・ジャズ 2024

※音楽・舞台芸術事業再掲

札幌の観光文化事業を担う独自のジャズイベントとして開催 18 回目を迎えた。ジャズの街さっぽろを国内外に発信し、都市のブランド力を高め、観光資源の創出を図るとともに、ジャズによる人材育成や市民参加活動の促進など、魅力ある街づくりに繋がる様々な事業を実施した。

▽ 札幌美術展 マイ・ホーム（札幌市補助事業）

※展覧会事業再掲

札幌・北海道にゆかりの作家を紹介する「札幌美術展」の第 17 回。本展では「ホーム」の流動性や不安定さに着目し、暮らし、制度、ルーツ、コミュニティなど、「ホーム」を形づくる様々な要素をテーマとした作品を展覧した。出品作家は、葛西由香、小林知世、武田浩志、田中マリナ、長坂有希、南阿沙美、米坂ヒデノリの 7 名。

▽ 子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」

市内の小学校 5 年生児童を対象に、鑑賞活動の楽しさを体験する 4 つのプログラムを実施。活動前に各学校の担当教員を対象としたコース説明会を実施し、各コースの会場において事業内容及び事前学習に関する説明と、活動場

所の下見・見学案内を行った。児童は、担当教諭が行う事前学習において鑑賞マナーと鑑賞の仕方を学び、活動当日は職員及び協力員（ボランティア）とともに作品を鑑賞した。対話を通じて多様な視点から作品を捉えることで鑑賞を深め、自らの感情や考えを言語化する機会を提供した。さらに、他者と意見を共有することで、多様性を受容する力の醸成を図った。

期間：令和6年4月17日(水)～令和7年2月28日(金)

会場：札幌芸術の森美術館、札幌芸術の森野外美術館、佐藤忠良記念子どもアトリエ、本郷新記念札幌彫刻美術館 本館・記念館

参加児童数：計13,509人

参加学校数：計188校

活動回数：計195回

【芸術の森美術館コース】82校84回

【野外美術館コース】85校85回

【子どもアトリエコース】6校6回

【彫刻美術館コース】15校20回